

様式第6号（第7条関係）

令和7年4月25日

（宛先）春日市議会議長

議員氏名又は会派の

名称及び代表者氏名 北 田 織



政務活動費収支報告書

春日市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定により、下記のとおり令和6年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

- 1 令和6年度政務活動費収支報告書（別紙1）
- 2 添付書類
 - （1）調査研究・研修報告書（別紙2）
 - （2）旅費計算書（別紙3）
 - （3）領収書（別紙4）
 - （4）支払証明書（別紙5）
 - （5）その他

別紙 1

令和 6 年度政務活動費収支報告書

議員氏名又は

会 派 の 名 称 北 田 織

1 収 入

政務活動費 62,500 円

2 支 出

項 目	金 額	主な支出の内訳
調 査 研 究 費	円	
研 修 費	68,526 円	ローカル・マニフェスト推進連盟及び 輝け！議会研修
広 報 費	円	
広 聴 費	円	
要請・陳情活動費	円	
会 議 費	円	
資 料 作 成 費	円	
資 料 購 入 費	円	
人 件 費	円	
事 務 所 費	円	
事 務 費	円	
合 計	68,526 円	

3 残 額 △6,026 円

別紙2

調査研究・研修報告書

議員氏名 北田 織

調査事項 研修会名称	実践(体験型議員研修)！どう創る？議員間討議 第2弾 輝け！議会、対話による地方議会活性化フォーラム in伊万里
日時	令和7年2月4日(火) 13:00～17:00
視察先 場所	佐賀県伊万里市立コミュニティセンター
目的	議会は討論の広場と言われています。しかし、委員会における議案審査は執行部への質疑と答弁を終え、討論、採決を行っているのが現状です。議案の論点や争点を整理して議員間で討議を行うことが重要と考えています。そのことから議員間討議の運営と仕組みづくりを学ぶため。
内容及び所感 (市政の課題に 対して参考にな った事項など)	テーマ「実践！ どう創る？ 議員間討議 第2弾」 先ず、初めに大正大学江藤俊昭教授より「議会運営における討議の重要性～『住民自治の根幹』としての議会を意識する」と題しての講演。 講演において、議会は閉鎖的で討議もせず承認機関になっていないか。住民と歩み議員間討議を重視し、その上で首長等と積極的に政策競争する議会を目指すべき。議案審査の重要性として、質疑後の議員間討議、重要議案に関わる参考人招致、討論の充実が指摘された。 そのことを踏まえて、過去に議案として挙げたテーマを題材に、模擬議員間討議を体験 議員間討議 ① 議案の上程 委員会での討議を想定して、議案ごとに7人(委員長1人、市民役1人、議員役5人)のグループに分かれて、先ず、発議者から下記の議案(3議案)説明を受け、質疑を行ったうえで議員間討議を開始。 ■私が所属した第6グループの議案 大野城市公民館施設の設置及び管理に関する条例の一部修正に関する条例の制定について(発議者 山上高昭・大野城市議会議員) 議員間討議 ② 論点、争点の洗い出し+市民からの意見徴収 ■私が所属した第6グループの議員間討議 (提案理由) 子供を始めとした幅広い世代の利用を促進するとともに、行政と公民館及び公民館相互の連絡調整を円滑にすることを目的として、公民館施設の休刊日及び開館時間等について、所要の改正を行うもの。 (提案の経緯) 先ず、論点、争点を洗い出すために、発議者に議案上程の背景や経緯を質疑し、市民役にも現状と経緯の意見徴収を行った。 その結果、区長会で、市内の各公民館施設の旧館日及び開館時間がそれぞれ異なることから統一して欲しいとの要望が出されたことが経緯と背景。大野城市は、自治会長＝区長＝公民館長と一人の役員が三足の草鞋

を履いている実態。当市の公民館施設は貸館的要素が強く、他地区の住民も空いていれば自由に使えるようになっていることから、市民としては「なぜ今まで通り自由に使えないのか?」「休館日が月曜日ありきかどうか」との疑問の声が多いことがわかった。
それを踏まえて、行政と市民のメリット、デメリットについて討議を行った。

議員間討議 ③ 論点、争点の整理

論点、争点を整理するために SWAT 分析をした後に討議、立場表明から意見表明で討議を行い、表決に移った。

SWAT 分析とは、内部環境（強み、弱み）、外部環境（機会、脅威）に区別して分析する手法。

- ①（強み）まちが持ち優れた内部環境要素
- ②（弱み）まちが持つ不利な内部環境要素
- ③（機会）まちの価値の向上を促進する外部環境要素
- ④（脅威）まちの向上を阻害する外部環境要素

全体共有 各グループの議員間討議の内容と採決結果の発表

今度の取り組み

現在、議員間討議の重要性を自覚し、下記の通り討論の前に議員間討議の発議を促している。

- ① 委員長から議案審査の当日に委員間討議の必要性の確認と発議、討議。
- ② 発議次項（議案）の論点、争点の洗い出しと参考人招致（市民の意見徴収）。
- ③ 最終質疑（執行部への確認）を行い、論点・争点を整し、議員間討議の後に討論（立場表明から意見表明）、後に表決。

議会は討論の広場と言われています。予算であれ、各議案であれ、市の方向性を決めるのは議会であることを自覚して、多様な意見の討議ができる仕組みづくりに取り組んでいきます。

別紙 2

調 査 研 究 ・ 研 修 報 告 書

議員氏名 北 田 織

調 査 事 項 研修会名称	輝け！議会、対話による地方議会活性化フォーラム in伊万里 「2つの図書館を見ての公共施設の可能性について」
日 時	令和7年2月5日(水) 10:00～16:00
視 察 先 場 所	伊万里市民図書館 武雄市図書館
目 的	伊万里市民図書館は市民と行政による建設と運営がなされている。一方、武雄市図書館は、目指す図書館像を地域コミュニティ、情報の拠点として新しい図書館づくりに取り組んでいる。 異なる考え方や手法で運営されている図書館から、公共施設運営の可能性を調査研究するため。
内容及び所感 (市政の課題に対して参考になった事項など)	伊万里市民図書館の前身は、昭和3年に町立伊万里図書館として開設、昭和29年に市立図書館、昭和42年の集中豪雨で資料の流失、大修理を経て翌年復旧したものの川幅拡張工事のため官舎を撤去。 以降、図書館友の会の発足、母と子の読書会、自動車図書館ぶっくん巡回開始などに取り組み、平成6年まで中央公民館に間借り状態で運営。 昭和61年に図書館づくりを進める会を発足して市民運動を開始。平成4年に図書館建設懇話会、5年に図書館づくり伊万里塾を発足。平成7年7月に伊万里市民図書館として開設され、今日に至っている。その足跡からも分かるように「市民と行政の協働による建設と運営」の図書館である。 伊万里市民図書館設置条例（設置及び目的）第1条には、伊万里市は、すべての市民の知的自由を確保し、文化的かつ民主的な地方自治の発展を促すため、自由で公平な資料と情報を提供する生涯学習の拠点として、伊万里市民図書館（以下「図書館」という。）を設置する目的が明確に示されている。 この条例からも理解できるように、個人的な満足度を変えずに、社会的課題解決を目的として運営されている。 開設以降今日まで、市民との協働を図り、図書館ボランティアグループは図書館専属のいすの木合唱団など10を超える団体が市民図書館を支える「市民の力」となり、また図書館はボランティアが活躍する「場と機会の提供」の拠点ともなっている。 伊万里市民図書館は、まちづくりを担う図書館として、市民との協働のパートナーである友の会「図書館フレンズいまり」の活動が顕著である。活動内容は① 図書館の支援及び協議、提言、②図書館ボランティア活動の支援、③イベント・講演会などの企画・実施、④会員の研修、⑤関係団体との連携など多岐にわたり、会員数373名(令和6年6月現在)。 一方、新しいスタイルの図書館づくりを目指す武雄市図書館は、平成25年4月にリニューアルオープンと同時に指定管理者制度を導入し管理・運営を外部委託している。歴史資料館と子ども図書館を併設している。 目指す図書館像を地域のコミュニティ、情報の拠点と定め、運営コンセプトを「市民の生活をより豊かにする図書館」を掲げ、①年中無休のいつでも利用で

きる図書館、②図書館、書店、カフェが融合した場所の提供、ニーズに応えるゾーニングの設定、③体験できる図書館として「ライフスタイルの提案」など提案型図書館として運営している。

販売されている雑誌や書籍は全て館内で自由に閲覧でき、本館には「スターバックスコーヒー」が出店し、子ども図書館には「九州パンケーキカフェ」を併設している。

ともかく広くて整理され、自由な空間で楽しい時間を過ごすとともに自己実現を図り、自己研鑽に相応しい体験型図書館である。

現在、本市が進めている中央部市民活動交流拠点づくりに、異なる2つの図書館運営から新たな価値と交流拠点を支えるボランティア団体の在り方を見出していきたい。

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号

/

議員氏名（会派の名称）： 北田 織

経
費
項
目

調査研究費 研修費・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費

資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

※ 領収書貼付欄（領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。）

— 領 収 証 —

令和7年2月4日

NO. 34

春日市議会議員 北田 織 様

金 額 4, 0 0 0 円

実践！ どう創る？ 議員間討議 輝け！ 議会 対話による地方議会活性化
フォーラム in 伊万里の受講料として、上記領収いたしました。

〒813-0012 福岡市東区香椎駅東 2-13-18

ロカルマニフェスト推進ネットワーク九州

代表 神吉 信之

裏面及び別紙のとおり

領 収 書

RECEIPT



CENTRAL HOTEL

セントラルホテル 伊万里

〒848-0041 佐賀県伊万里市新天町字浜ノ浦549-17

549-17 Hamanoura Sinten-cho Imari-city,

Saga-pref, Japan

TEL : 0955-22-0880 FAX : 0955-22-0881

株式会社メリーランド

登録番号 : T4300002006003

1/1

部屋番号 ROOM No.	お名前 NAME	Mr. Ms.	ご人数 PERSONS
907	春日市議員 北田 織	様	1
ご到着日 ARRIVAL	ご出発日 DEPARTURE	備考 REMARKS	
02/04	02/05	発行日時 DAY TIME ISSUED 25/02/04 17:17:58	

日付 DATE	部屋番号 ROOM No.	ご利用明細 EXPLANATION	ご利用金額 AMOUNT	お預り金額 PAYMENT	備考 REMARKS
02/04	907	室料	8,600		
02/04	907	クレジットカード () 10%対象 (内消費税 ¥8,600 ¥781)		8,600	
					25.2.04

会社名
FIRMご利用金額
AMOUNT

8,600

ご住所
ADDRESS内消費税
TAX

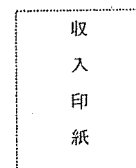
781

ご署名
SIGNATUREお預り金
PAYMENT

8,600

ご請求額
BALANCE

0

310918-DP
01

上記金額には消費税が含まれております。
A consumption tax is included in an above amount of money.

別紙2

調査研究・研修報告書

議員氏名 北 田 織

調査事項 研修会名称	ローカル・マニフェスト推進連盟 湘南勉強会in茅ヶ崎 「海、環境、そしてデジタル行政、地方自治の新たな可能性と市民力」
日 時	令和7年2月7日（金）13:00～17:00 令和7年2月8日（土）9:00～12:00
視 察 先 場 所	茅ヶ崎市役所本庁舎1階フロア 茅ヶ崎市民文化会館4階
目 的	現在、私が委員会運営及び政策提言を行ううえで、課題としているのは委員間討議の充実である。討議の発議時期、取り扱い、課題を整理し、自由闊達な議論ができる仕組みづくりを学ぶために、マニフェスト大賞議会改革部門で優秀賞を受賞した「藤沢型政策討議会議」と議員がBARのマスターになった場合、アイデア満載の「まちBAR」を学ぶため。
内容及び所管 (市政の課題に 対して参考にな った事項など)	○市議がマスターになる「まちのBAR」 BARを経営していた市民が、対立により、政治と市民に距離があると感じ、政治へのタブー意識、無関心・諦め、クレーマー体質から脱却し、対立から共創へ価値観の転換を図るために「まちのBAR」を始めた。 もしも市議が、BARのマスターになったら？どうなるのか？ 美味しいお酒を飲みながら、気軽にまちのことを話せるかもしれない。まちに関する純粋な疑問を、聞いてみることもできるかもしれない。市議の人となり分かり、市議を身近に感じるかもしれない。市議も市民もみんな、まちをより良くしていこうという空気が、まちに育まれるかもしれない。本来、まちは市民が主役。だから「まちのBAR」を始めました。とのママの言葉が印象的でした。 開始から1年で毎回30人から60人の市民と、3人から8人の市議が参加している。自民・立憲民主・共産党・無所属迄、党や会派を超えて議員が参加、シティズンシップのムーブメントになっているとのこと。当然、運営については、市議がお酒をつくりフラットな関係を築くこと、その日に話したいことをカードに書いて話すなど、いくつかのルールが設けられている。あらためて議員と市民との飲みニケーションの大切さを実感した。 ○究極の議員間討議を実現！「藤沢型政策検討会議」 第19回（2024年）マニフェスト大賞、議会改革部門で優秀賞受賞議会に対する考え方の根幹は、議会不要論か生活に役立つ議会か。 <藤沢市議会における失敗例> 2019年4月の改選を迎える段階での、2本の政策条例提案頓挫の反省例1 超党派有志での検討―「猫のえさやり禁止条例」 通称「猫議連」が2016年から取組み開始。保健所とのコミュニケーションのもと、獣医師会や動物愛護団体等との意見交換、法務部門におけるチェックまで進みながら、最後の「罰則の有無」で意見が割れ、調整が進まないまま改選を迎え議連は解散。 ⇒調整における責任の所在を設ける仕組みが必要。

例 2 単独会派での提案—「子どもの貧困支援に関する条例」

長期間にわたって弁護士とのコミュニケーションを取りながらの議員提案。委員会審査の中で、他会派委員からの不明確な根拠の継続審査の動議が通り、次の改選前最後の委員会でも同じ動議提出。実質廃案。

⇒会派間の議論と調整、改選を挟んでも対応できる仕組みが必要。

上記の失敗を踏まえて、藤沢型政策検討会議を設置。

「藤沢型政策検討会議」とは

⇒条例／政策提案の最初のハードルを低くする。提案の受け皿としてのプラットフォーム。

その特徴は、⇒意見が異なっても発言しやすく、活発な議員間討議を実現させるしくみ⇒複数案件の同時進行を前提とした仕組みづくり

なお、議会改革推進会議における取組として、政策検討会議設置要綱及びガイドラインが設けられポイントは次の3点である。

①定数の1/12の3人以上で設置提案を議会運営委員会にはかる。議運は原則政策検討会議の設置を認める。⇒提案のハードルが下がる

②政策検討会議は提案当初の賛否問わず全会派の出席を基本とする。⇒議員間討議が活発化する

③ガイドラインという手引きにおいて複数の案件の同時進行も想定。スムーズな運営を可能としている。⇒多くの政策形成の機会が巡る。

本議会では、閉会中の所管事務調査を通して政策提言を行うとともに、市政課題検討会議で議論が始まったばかりと認識している。政策検討会議で最重課題は議員間討議と考えている。政策を検討する機関を明確にして活発な討議を行う設置要綱やガイドライン作成を検討すべきである。

○「ちがさき子ども選挙」～子供の、子どもによる、子どものための選挙～
こども基本法第3条（基本理念）に基づいて、本当の選挙と同時開催の模擬選挙を通じた、「リアルな学び」と「市政への参加機会」の主権者教育を実現する。こどもが聞いて、選んで、届ける。をモットーに、2022年10月30日茅ヶ崎市長選挙と同時に、「ちがさきこども選挙」が行われた。

市内から15名の子ども選挙委員を募集して、委員には民主主義を教え、まちのことを話し合い、こどもが考えて、候補者が答えて、動画と新聞で発信する取り組み。当日は市内11か所に投票所を設置し、ネット投票システムを構築して投票。投票所とネット投票でこどもが選ぶ、集計して、こどもが選んだ市長を発表！投票用紙に想いを記入、その結果をまとめて、子供の手で候補者に届ける。こどもが聞く、こどもが選ぶ、こどもが届ける仕組みができている子どもへの成果として、①主権者意識の芽生え、②シチズンシップの醸成③市政への参加機会が挙げられている。

この取り組みのこども選挙は、マニフェスト大賞 市民・団体の部 最優秀賞、キッズデザイン賞 最優秀賞・内閣総理大臣賞、グッドデザイン賞 金賞・経済産業大臣賞等を受賞しています。

本議会が取り組んでいる中学生を対象とした「市議会にアタック」、本年度から始める小学生対象の主権者教育も多様な視点から検討する必要があると考える。

別紙 3

旅費計算書

議員氏名又は

会派の名称 北 田 織

日 程	令和7年2月7日（金）～令和7年2月8日（土）	
視 察 先 及び 視察内容	神奈川県茅ヶ崎市 茅ヶ崎市民文化センター 湘南勉強会in茅ヶ崎「海、環境、そしてデジタル行政：地方自治の 新たな可能性と市民力」	
交通手段	☒ 公共交通機関 ☐ その他（ ）	
交通手段	福岡空港～羽田空港	37,535円
交通手段	羽田空港～横浜駅	650円
鉄道運賃	J R横浜駅～J R茅ヶ崎駅	510円
鉄道運賃	J R茅ヶ崎駅～J R横浜駅	510円
	横浜駅～羽田空港	650円
		円
		円
		円
パック料金		円
合 計		39,855円

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号	2
------	---

議員氏名（会派の名称）： 北田 織

経 費 項 目	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費
	資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

※ 領収書貼付欄（領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。）

別紙のとおり

別紙①

領収データ - 2025年02月07日（金）・08日（土）湘南勉強会in茅ヶ崎「海、環境、そしてデジタル行政：地方自治の新たな可能性と市民力」

発行日 2025年1月13日

宛名 春日市議会議員
北田 織

合計 ¥6,000

但し 研修会 参加費

注文日 2025年1月11日

注文番号 28750596

主催者 ローカル・マニフェスト推進連盟 (ローカル・マニフェスト推進連盟)

イベント名 2025年02月07日（金）・08日（土）湘南勉強会in茅ヶ崎「海、環境、そしてデジタル行政：地方自治の新たな可能性と市民力」



— 領 収 証 —

令和7年2月5日

NO. 5

春日市議会議員 北田 織 様

金 額 3, 0 0 0 円

伊万里市民図書館⇒武雄市図書館tour 輝け！議会 対話による地方議会活性化フォーラム 主催の受講料として、上記正領収いたしました。

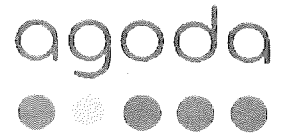
〒813-0012 福岡市東区香椎駅東 2-13-18

ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州

代表 神吉 信之



別紙②



住所：
Agoda International Japan株式会社
東京都渋谷区
恵比寿南1-7-8
恵比寿サウスワン8階

予約番号 1495620268
支払日 January 11,
2025

領収書

宿泊者氏名 & 住所	
名前	春日市議会議員 北田 織
請求書送付先	春日市天神山4-24
E メールアドレス	

記述		合計
ホテル名	Toyoko Inn Shonan Chigasaki-eki Kita-guchi	
期間	February 7, 2025 - February 8, 2025 (泊数 : 1泊)	
部屋タイプ	Single Smoking	
部屋数	1	
エクストラベッド数	0	
客室合計金額		USD 44.82
エクストラベッド合計金額		USD 0.00
総合金額		USD 44.82
合計お支払い金額		JPY 7,071 (USD 44.82)

この領収書は自動的に作成されています。

別紙③



Web 460c5420389c27a4da61a6bf258b6779
2025年01月11日 12:40発行

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

春日市議会議員 北田 織 様

金額 37,535円 (税込み)

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	1312214227286
航空券/料金券発行日	2025年1月11日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社

登録番号 T7010701007666

ご利用旅程・運賃・料金明細

キタダノボル 様

2025年2月7日 (金)

運賃：往復セイバー

07:05 福岡

クラス：普通席

便名：JAL 300

08:35 東京 (羽田)

2025年2月8日 (土)

運賃：往復セイバー

18:40 東京 (羽田)

クラス：普通席

便名：JAL 331

20:40 福岡

37,535 円

合計金額 37,535円

別紙 5

支払証明書

支 払 金 額	2, 3 2 0 円
支 払 年 月 日	令和 7 年 2 月 7 日～令和 7 年 2 月 8 日
支 払 先	住 所 横浜市西区高島 1 丁目 2 番 8 号 氏 名 京浜急行バス株式会社
支 払 先	住 所 東京都渋谷区代々木 2 丁目 2 番 2 号 氏 名 東日本旅客鉄道株式会社
支 払 事 由	茅ヶ崎市で開催されたローカル・マニフェスト推進連盟主催 の研修会に参加した羽田空港から茅ヶ崎駅往復の旅費
領収書を徴することが できなかった事由	ICカードを使用していたため。

上記のとおり支払ったことを証明します。

議員氏名又は

会派代表者氏名 北 田 織

